

男女が共に支え合う心豊かなまち 湘南にのみや



二宮町男女共同参画シンボルマーク

*** 男女共同参画ってどんなこと? ***

「男女共同参画」ってご存知ですか？男性も女性も性別に関係なく、自分の能力や個性を十分に発揮できることが、「男女共同参画」です。

男性も女性も、意欲に応じて家庭・学校・職場・地域のあらゆる分野で活躍することができる社会づくりが求められていますが、「男性はこうあるべき」「女性はこうあるべき」といった固定的な考えは、まだまだ残っています。

二宮町では、「第2次にのみや男女共同参画プラン」に基づき「男女共同参画社会」の実現を目指しており、町内の7団体の委員で構成されている「二宮町男女共同参画プラン推進連絡会」は、町の男女共同参画の推進に取り組んでいます。

その一環として今回は、村田町長や子育て中の家族へのインタビュー、各委員による各所属団体の男女共同参画に関連した活動報告を紹介します。

日頃から防災意識を高める手助けを

～ 二宮町女性防災隊 ～

私たち女性防災隊は、自分を、家族を守るために、日頃から災害に対する知識と技術を身につけ、訓練した内容を、地域の皆様にお伝えする活動をしています。

毎月第三土曜日の午前中、町消防署2階で、心肺蘇生法、応急担架の作成や、各地の防災研修センターで地震体験、消火訓練等も体験したりと楽しく訓練を行っています。

平成27年は、町内の40～50歳代の女性を招いて、訓練を実際に体験していただいたり、「湘南にのみやふるさとまつり」では、実際に火を使わない、簡単にできるサラダを紹介しました。多くの町民に試食していただいたところ、大変好評で、たくさんの「おいしい!」のお言葉をいただきました。

これからも、女性ならではの目線で、防災に関する情報を収集、町民の皆様を紹介し、防災意識を高める手助けをしていきたいと思っております。



磯部 和美

絆を大切に、楽しい子ども会活動を

～ 二宮町子ども会育成会連絡協議会 ～

「二宮町子ども会育成会連絡協議会」（以下：子育連）は、「子育連」の略称で親しまれていますが、二宮町各地区にある、16支部の子ども会育成会を取りまとめている組織です。

平成27年度は、二宮町町制施行80周年ということで、11月に「子ども会まつり」を、ラディアンで盛大に開催いたしました。

子育連の1年間の3大イベントは、7月に、町内6年生を対象とした2泊3日の「野外研修」、10月に、町民運動場で開催される「ドッジボール大会」、そして、通常は2月に開催される「子ども会まつり」です。

どの行事においても、子ども達の自主性、協調性、他人を思いやる心を育て、協力すること、ルールを守れることを学びながら、楽しい思い出をつくっています。

男の子も女の子も行事に積極的に関わること、社会に目を向け、地域間・世代間のコミュニケーションを深めることができます。

今後も、子ども会育成会の活動及び二宮町の未来に繋がるように、「主役は子ども達」を実践できる環境づくりを行ってまいります。

杉崎 文

より良い二宮の地産地消商品を目指して

～ 二宮町商工会女性部 ～

「二宮町商工会」の内部組織である「女性部」は、商工業に携わる女性としての経営知識と教養を深め、地域の活性化や、地域における豊かな生活環境を築いていくことを目的として、活動しています。

平成27年度の女性部事業として、二宮町の知名度アップを図るため、「二宮グルメ」商品の開発研究に取り組みました。

「健康長寿の里 二宮」を醸し出す、地域資源の1つ「海の幸」にターゲットを絞り、まず、二宮の漁場の現状や魚の流通について学び、二宮沖の素晴らしい漁場を活かした、健康増進の「食」と吾妻山などの「観光」を合体させた、観光客へのおもてなしとしてふさわしい、手軽で栄養満点の「二宮フィッシュバーガー」を開発しました。

今後も、安全・安心で健康に良い二宮の地産地消商品を目指して、研究・開発に取り組んでまいります。

今井 恵子

二宮産の野菜を活かして活動

～ 湘南農業協同組合二宮女性部 ～

湘南農業協同組合（以下：湘南農協）の女性部は、平塚市・大磯町・二宮町の合計12支所、各地区に支部があり、二宮町地区では、28名の会員で活動しています。

主な活動として、毎年11月に平塚市総合公園で開催される「JA湘南でてこいまつり」イベント内での「芋煮大会」と「芸能大会」に参加しています。

今年の芋煮大会は、12支所の女性部が、各支所独自レシピで調理し、来場者に無料で振る舞いました。二宮女性部は、二宮産のしいたけを使った醤油ベースの芋煮を振る舞い、芸能大会では、よさこい踊りを、揃いの衣装で披露しました。

また、毎年二宮町と共催している「農林水産まつり」内の「JA湘南ふれあいまつり」には、二宮産野菜の直売や二宮女性部で作った手芸品、うどん・そばの販売を行い、毎年好評いただいています。

その他にも、二宮女性部独自の取組みとして、健康やリフレッシュを考慮した、「ストレッチサークル」や「フラワーアレンジメント講習」、年1回で日帰り旅行と食事会もあり、女性部員の活力となっています。

しかし、農業協同組合への新規加入者や農家の後継者不足は大きな課題となっており、若い世代にも農業のすばらしさを知っていただくために、今後も活動してまいります。

井上 トシ子

町長インタビュー

男女が活躍できる町づくり

をめざして

二宮町では、歴代初となる女性町長が誕生し、町行政に新たな風が吹き込んでいます。

国が地方創生を打ち出す中で、町民が家庭や仕事、育児、介護、地域活動をバランス良く担っていきけるような町政にするために、村田町長はどのように考えているのか、町の男女共同参画推進委員がインタビューしました。

※村田町長の発言の前に（町）、委員の発言の前には（委）と表記しています。

（委）：今は、家庭や仕事、地域活動など男性も女性も活躍する時代になっていますが、男女共同参画をどのように町民へアピールしますか。

（町）：まずは、役場の職員の中で、男女共同参画意識を高めていくことが町長の役目だと思っています。男女とも分け隔てなく仕事の出来る、町民のモデルになれば、働き方の目線も違ってきます。

（委）：役場内で、育児休暇の取得は出来ますか。

（町）：取得は出来ます。しかし男性の育児休暇は、過去1件のみの取得です。

（委）：「～休暇」のように、長期間仕事を休むことに抵抗はあると思います。私も企業に勤務していた頃に、家庭の用事等で「時間休」を取得していました。そういう休暇の取り方でも良いと思います。

役場の女性管理職は全管理職の10%ですが、町議会議員に対しての女性議員の割合は高いですね。

（町）：私もかつて町議会議員でしたが、町女性議員はその頃から多くて、「日本一女性議員が多い町」になったこともありました。女性が、声を出しやすい町だと思います。

（委）：村田町長も家に帰れば、主婦でもある訳ですが、町長のワーク・ライフ・バランスはどうですか。

（町）：夫は、現在もサラリーマンです。私の生活を理解してくれており、家事を色々やってもらいますし、やらざるを得ません。料理なども作ってもらいますが、掃除、洗濯は自分がやるなど、その時々で自然と役割ができています。

我が家は、子供は息子2人ですが、そのような家庭で育ちましたから、自然と家事もこなすのではないかと思います。それが家庭での教育にもなるのかな。

（委）：国が、男女も若者・高齢者も働き、労働力をアップさせる政策にでていますが。

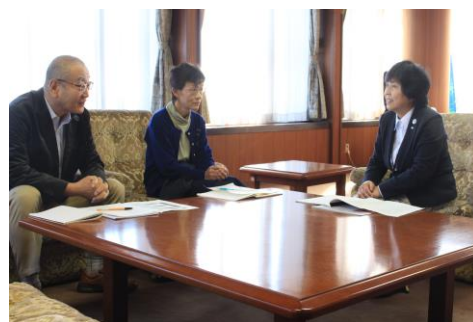
（町）：平成28年4月から駅前保育施設が利用できます。子供を預けることで、お母さんが働ける環境が出来ると思いますが、これからは、介護しながら仕事をしなければならない人々が増えてきます。二宮町は、ご近所や地区の関係が良いので、助かる面はありますが、これをクリアしていかないと、男性も女性も輝けない町になってしまう。

（委）：地域活動について、役員は男性であることが多いですが、女性の意見も地域に取り入れれば、色々な意見やアイデアが生まれてくるのではないかと思います。いかがですか。

（町）：地域でも、いざという時に男性役員がいなければというのもあるけれど、女性の意見も必要であり、組織づくりが大切。男女のバランスだと思う。

二宮町は、平成26年度から女性消防職員が働いていますが、全て男性と同じという訳ではない。男女の違和感のない職場づくりをしていかなければならないし、個性を自由に伸ばしていける「男女が活躍できる町づくり」を目指していきたい。

三柳 弘
関口 和世



わーく・らいふ・ばらんす

3人の子どもを育てながら、夫婦でパン屋を営んでいる、山下さんご夫婦。毎日夫婦2人で働くことの大切さ、楽しさを伺いました。

山下夫妻の右手と左手

ラディアン前の交差点から秦野方面旧道に、小さなパン屋さんが開店して1年半。ブーランジェリー ヤマシタさんは、4年前に茅ヶ崎から引っ越していらした山下雄作さんと房江さんのお店です。

なぜここにパン屋さんが？しかもお昼過ぎにはいつも売り切れていて・・・。

雄作さんの人生の大転換は、東京の北欧家具の会社でバリバリ仕事をしていた32歳の時に起きました。不意に「このままいたら家族が壊れてしまう」と感じ、房江さんと徹底的に話し合ったそう。出した結論は、会社を辞めてパン職人になり、3人の子どもたちと少しでも長い時間を過ごせる生活の選択、子育てに最適そうな二宮町に移住、自宅から至近距離で仕事をする事でした。

「私たちはふたりで一人」と房江さん。右手と左手のように、どちらが何をする、と決めることなく自然に仕事や家事をお二人で分担するそうです。

夜明け前から夜遅い翌日の仕込みまで、睡眠時間を削ってパンを焼くご主人、感謝の笑顔を決やさずお客様に接しながら家事も育児もこなされている奥さん。お二人のパンは、ほのかにその佇まいが香ります。

ほら、今日も幸せそうなお客様の列が・・・。

山内 みどり



第2次にのみや男女共同参画プラン

二宮町では、平成25年4月より「第2次にのみや男女共同参画プラン」を策定し、男女共同参画の推進に取り組んでいます。

このプランでは、「男女が共に支え合う心豊かなまち湘南にのみや」を将来像に掲げ、男性も女性も共に支え合い、協力しながら明るく、心が豊かになるような町づくりを目指しています。

編集：二宮町男女共同参画推進連絡会 発行/事務局 二宮町政策部企画政策課
〒259-0196 中郡二宮町二宮961番地 ☎：0463-71-3311 (代表)